

第7回新法人準備委員会 議事録

【日時】2月18日（火）18～20時

【場所】よろーな

【出席者】 別紙

【決定事項】

1. 各議題について

①監事の推薦について、名寄市・風連町スポーツ協会から選出する。外部監査を依頼した方が良いではないか。大きなお金を動かすことになるので、お金を払ってでも外部監査を受けた方が良い。

②団体の財産取り扱いについては、各団体R6年度決算ベースでそのまま新法人に移行させることで、当準備委員会の認識が一致した。※各団体は統合前に財産を処分しない。

③既存の加盟団は新組織に継続加盟とする。別紙通知文書もその旨を記載し、確認書を提出してもらう。※通知文書の文言修正

④新組織における少年団の取り扱いについては、新組織は少年団本部として事務手続きを行う。少年団は競技団体の傘下ではなく、別組織として位置付けられている。新組織ではジュニア会員として位置付けられているが、やはり関係団体の位置付けの方がわかりやすいのではないか。少年団組織は競技団体と同様の扱いにはならないので継続加盟ではない。会員区分も含め事務局でもう一度検討を。

2. 統合スケジュールについて

＜統合スケジュール＞

- | | |
|---|-----------|
| ① スタッフ募集（地域活性化企業人、地域おこし協力隊） | 2月中旬 |
| ② （仮称）スポーツフォーラム | 3月5日 |
| ③ スポーツ団体意向調査 | 3月6日～（未定） |
| ④ 名寄スポ協理事会：R7事業計画・予算 | 3月24～28日 |
| ⑤ 名寄スポ協：監査 | 6月2～6日 |
| ⑥ Nスポ総会 | 5月26日 |
| ⑦ 風連スポ協総会 | 5月20日頃 |
| ⑧ 名スポ協理事会の開催：名称・定款変更 | 6月9～17日 |
| ⑨ 名スポ協評議員会の開催：名称・定款変更の議決、現理事・現監事は任期満了による退任、新理事・新監事の選任、現評議員の辞職 | 6月9～17日 |
| ⑩ 変更登記申請：上記⑨終了後、名称・定款変更の手続開始 | |
| ⑪ 新理事会の開催：会長（代表理事）の互選（副会長も） | 6月16～20日 |

- ⑫ 名寄スポ協評議員選定委員会：新評議員の選任 6月 16～20 日
⑬ 変更登記申請：上記⑫終了後、新評議員・新理事・新監事の変更手続き開始
⑭ 新組織統合セレモニー：新評議員・新理事・新監事、会員等によるセレモニー＆交流会 6月 23～28 日

【発言録】

遠藤：報告事項からお願いします。

各団体：特にありません。

遠藤：監事の指名について検討したいと思います。

(監事についての検討：個人名が出ているため議事録上では伏せる)

遠藤：統合スケジュールについて共有をお願いします。

松澤：名寄市の指定管理などについてのステップを再度確認したところ、名称変更のみという形ではなく、一度議会に諮るということになりました。議会、名寄スポーツ協会の総会などを含めて、現在日程調整をしているところです。申し訳ありませんが、

遠藤：団体の財産の取り扱いについてお願いします。

松澤：前回、今さんを始め委員のみなさんから一度この準備会の中でしっかりと協議したほうがいいという話が出ましたので、改めて、こちらに資料を上げました。

安澤：定期預金としては 3000 万円、通常決済預金で 1000 万円、他、パソコンなどはじめいくつか備品周りがあります。

小笠原：N スポは厳密に言うと名寄市の財産ですが、ジュニアスポーツエコシステム形成事業として 10 年事業として、寄付いただいたものが基金に積み立てられており、残り 7 年間分の 1 億 2550 万円があります。分割して 1 年ごとにかかる費用をここから入れていきます。

石橋：補足です。この金額は企業版ふるさと納税を基金としているので、基本的に N スポの財産リストのものではなく、あくまで活動資金として担保されている、ということでご理解ください。

今：この基金はふるさと納税のほかにあるんですか？また、エコシステム以外でも使われるんでしょうか？

石橋：この金額は、企業から「エコシステム形成事業あて」として寄付してもらっている部分は市が担保しているという状態。事業費については毎年予算建てし、その基金から崩されて名寄市が負担金で支払うという形になっています。もともと10年の計画で年間スケジュールも組み終わっているので、当初予算から計画通り予算建てしてもらうということで、途中で事業変更などがあった場合には補正予算を組んで、という形になります。

遠藤：ありがとうございます。ではこのリストに対して、新団体にすべて引き継ぐという確認でよいでしょうか？事務局レベルでもすすめられるのか、承認が必要なのかどうか、いかがでしょう。

松澤：基本的には統合なので、3つの団体から財産も事業も持ち寄ってということを前提にお話を進めてきました。名寄スポーツ協会は大きな財産がありますので、何らかの確認作業は必要かと思います。

安澤：スポーツ協会は統合が6月なので、その時期に合わせて、持っている財産、指定管理も3月31日をもって、3期に分かれて入ってくるということで、その時に、多いとか少ないとか、統合が決まる段階での財産が最終的に決まることになります。そして理事会や評議員会などで定款変更の時に報告して、承認されるものではないかと認識しています。

今：どうしてそうなのかというと、三者合意の時に、そこまで踏み込んだ決定はなされていませんでした。そこに対して、私は不審に思っていました。合併するというときに、お互いの財産を持ち寄りましょうというと、統合する時点の財産を持ち寄りましょうという合意をしているかと思ったら、そうでもないみたいなんですね。だから、今ここで話し合った通り、通常決算預金1,000万円、動きがあるかもしれません、どこかでお互いの財産の明確化と引き渡しは必要だと思います。お互いの財産の持ち寄って統合しましょうというのは、気持ちの上ではみなわかっていると思いますが、具体的な手続きをどうするかも含めて、事務局段階で詰めておく必要があると思います。ここでは、この通り、持ち寄りましょうということで。一気に三社合意のときにやっていると思っていたものなので、あえて挙げさせてもらいました。

遠藤：では、この委員会としては、財産をリスト化して、持ち寄ってもらうということでいいでしょうか。

山崎：遠藤さんからお話をいただいた内容になると思いますが、いま今さんからお話を合った通り、名寄スポーツ協会は大きい預金があり、まだ変動もあるということなので、名寄スポーツ協会の中で、丁寧に中でご確認をお願いしたいと思います。あとで、誤解や勘違いなどがないようにお願いします。加盟団体にもご了解いただける形が望ましいと思います

石橋：安澤さんに確認したいのですが、この備品は持っていく考え方、法的には名寄スポーツ協会の名前がかわるというだけなので、基本的な考え方としては、名寄スポーツ協会の財産はこのままで、この既存のものに対して、Nスポが財産をもっていくということになると思っています。その考え方で大丈夫でしょうか？

安澤：大丈夫です。

遠藤：では、ここでは意見が一致したということで、あとは名寄スポーツ協会でお願いします。

黒井：2つ確認事項がありますね。方針について、すなわち財産を新法人にすべて移行するという話。もう一つは金額の話ですね。金額はいま決まらないということですが、金額が決まらないから方針も決まらないということではないと思います。各団体ではまず方針を確認いただき、金額については、決まってくるタイミングで決める、ということでいいと思っています。金額が決まるまで方針の決定を待つ、ということではないかと思います。補足でした。

遠藤：それでよろしいですね。ありがとうございます。では新法人への加盟について、ということで説明お願いします。

松澤：別添資料をご覧いただいて、自動的に加盟することを前提に文章を構成しています。
(資料説明)

石橋：個人的に違和感があるのは、自動加盟すると言いながら、承諾書をもらうというのはどういうことか？

松澤：前回の会議のなかで、一応確認はとろうということになったので、こういうものを作りました。「承諾書」という言葉が合わないかもしれません。

石橋：自動加盟、のほうの言葉がマッチしてないと思います。

小笠原：引き続き加盟いただけますようお願いいたします、という感じでしょうか。現・スポーツ協会に加盟している方々はそのまま新法人にいくでいいと思うのですが、風連、N スポの団体がそのまま引き続きというのはちょっと違う気がします。新法人へ加盟しますみたいな加盟手続きが必要なのではないかと思います。

筒井：少年団も出すんですよね？新しい組織の中で少年団も加盟するんですよね？やっぱり、少年団の方も迷っているところもたくさんあるので、きちんと案内すべきだと思います。スポーツ団体も、少年団も。これまで少年団はスポーツ協会の下部組織だったので、決定事項に則るだけだったが、今後はスポーツ協会と同じように会員となるのであれば、しっかり説明と案内をすべきだと思います。

松澤：少年団については前回、話に上がっていなかったので私も気づきませんでした。ただ、取り扱いは変わるかなと思っています。現在の加盟団体については法的な手続きと表向きな手続きと少し違ってくると思います。

遠藤：みなさんが引っかかっているのは「自動的に加盟」ということですね。

松澤：新組織に移行していきます、というのがいいかなと思ったのですが、どうでしょう。

黒井：前回も話していましたが、法的にはこういった説明も手続きも必要なく、自動ですが、それだと新法人が始まる、作っていくという周知がしにくいのではということで、こういった手続きを踏んでいるということだと思います。

小笠原：既存のスポーツ協会の加盟団体では、そういった「自動」「引き継ぎ」でもいいのかもしれません。N スポの話でいくと、N スポの会議などきちんと説明するということかなと思います。

山崎：ただ、若干強制感がありますよね。また、内容や条件など若干かわるので、きちんと説明したほうがいいと思います。

遠藤：では、少しやわらかい表現に変えて、承諾書のような、確認書のような、そういったものは必要ということでいいでしょうかね。

小笠原：統合されました、で言い切ってしまって、確認という形のほうがいいのでは？

遠藤：継続して加盟することを確認しました、ということでサインですね。

松澤：名寄のスポーツ少年団は、少年団本部は現本部長の名前で文書を作り、各少年団に出すということでお願いします。風連も名寄スポーツ少年団本部ですね。

山崎：風連の少年団は、名寄スポーツ少年団本部なのですが、活動を小さい単位で動かせるようにということで、風連町スポーツ少年団連絡協議会を作つて、会長を筒井さんにお願いして活動しています。対外的に出していく場合や承認などに関しては、吉田肇本部長の名前で出しています。ここで質問するのは違うかもしませんが、日本スポーツ少年団本部、その下部に北海道スポーツ少年団本部、その下部に市町村のスポーツ少年団本部となり、市町村に一つだけと取り決められている。これまで、名寄スポーツ少年団本部は名寄スポーツ協会の下にありました。で、今回3者統合なので、Nスポーツコミッショナよろの中に名寄スポーツ少年団本部もおかれるということですよね。その辺の整備が整っていないと、少年団の団員の各種研修などに参加できないなどの不利益もでるので、頭に置いておいてください。

松澤：少年団は名寄スポーツ協会の下部組織ではないですね、正式には。関係団体ではあります、少年団の本部系列なので、本来は別の扱いです。

安澤：うちは少し特殊で、少年団は一応登録の際に少年団本部に登録してもらうのですが、なんというか、現実はそれぞれの加盟団体、野球少年団なら野球、ソフトテニス少年団ならソフトテニス協会、バレー少年団ならバレー、という風に、登録しているという扱いにしています。平成9年の財団になったときにそのように変更しました。そのため、少年団本部の実態はありません。少年団の補助金も、少年団に直接払うのではなく、加盟団体に払っています。例えば、野球少年団が3つあるとしたら、その配分をどうするかは、軟式野球連盟に支払い、任せるといった形です。加盟団体によって考え方方が違うので。スポーツ少年団本部として、なにかやるという組織体系にはなっていなくて、風連とはまた違うんです。

山崎：よく理解できないんですが、名寄市スポーツ少年団本部長の名前はあるけど、組織としてはない、というかたちですか？

安澤：日本スポーツ協会の中にスポーツ少年団という事業がひとつあって、その考え方を踏まえて、平成9年に財団法人になった際に、スポーツ少年団育成協議会というのを作つたのでその中ですべてを動かすということにした。少年団も競技団体もすべて一つのスポーツ協会の中に入っているということです。

松澤：新しい団体では、少年団だけの組織をちゃんと組織化しましょう、名寄スポーツ少年

団本部なのか、名称はさておき、そういう風にして本部を設けて、その手続きはNスポーツコミッショナによろが行うことにします。きちんと組織化していきます。現在加盟している少年団は引き続き加盟となり、Nスポが手続きする。他に少年団に入っていない団体は少年団に入らずに、ジュニア会員のみとなる。少年団に入っている団体もジュニア会員とはなりますが。少年団の本部を動かせばいいというだけでしょう。先ほどない、と言っていたけど、あるはずなので、それをしっかり動かすということでいいと思います。

正式にいうと、少年団本部に関しては移行手続きなどではなく、手続き事務が名寄スポーツ協会からNスポーツコミッショナ名寄にかわる、ということだと思います。

筒井：こういう風に変わることをしっかり伝えてあげないといけないと思う。私たちですらこれだけ議論になるんだから、少年団の人たちも混乱するだろう。

小笠原：少年団には、そのまま加盟することになる、という少年団向けの案内ができればいいのではないかでしょうか。

遠藤：ではそのような形でいいでしょうか。

山崎：わざわざここで言うこと時かわかりませんが、この名寄での確認事項が北海道や日本スポーツ協会へ、縦の系列につながるようにしてほしいと思います。

遠藤：ではトーケンセッションについてお願ひします。

黒井：（資料説明）

渋谷：（当日の内容について説明）

（トーケンセッションの内容について決定）

石橋：最初の話に戻ってしまうのですが、監事の件です。今後大きな額を扱うことになるので、しっかりした人を立てるか、もしくは外部監査を受けるほうがいいのではないかと思っています。

山崎：そのとおりだと思います。

遠藤：内部監査については、名寄スポーツ協会、風連スポーツ協会から出していただいた、それとは別に外部監査をお願いするという方向でよろしいでしょうか。

